



園だより

みなづき
6月(水無月)号

令和7年5月30日
千代田区立お茶の水幼稚園
園長 伊藤 栄司



<http://www.schoolweb.ne.jp/chiyoda/ochanomizu-k>

定期健康診断と子どもたち

園長 伊藤 栄司

天気の良い日は錦華公園で遊ぶことが増えました。錦華公園は近所の保育園にも大人気で、色とりどりの帽子をかぶった子どもたちが、砂場や遊具で遊ぶ姿が見られます。お茶の水幼稚園の子どもたちも、自然に遊びの輪に入り、仲良く遊んでいます。多い時には、3～4園が集まり遊んでいるので、大きな幼稚園ができたかのようです。各園の先生方がしっかりと一人一人を見てくれているので楽しく、思い切り遊ぶことができます。

定期健康診断

園では5月から6月にかけて定期健康診断を行っています。「学校保健安全法」には、「学校においては、毎学年定期的に、児童生徒等の健康診断を行わなければならない」と規定されており、「同施行規則」には、「毎学年、6月30日までに進行」と示されています。また、第1条に学校とは、「幼稚園・小学校・中学校・・・」と書かれているので、法律に則って健康診断を行っています。4月に入学・進級してすぐに始まるタイトなスケジュールですが、耳鼻科や眼科等、水泳(水遊び)が始まる前に診てもらいたい項目もあるので、まとめて一気に健康診断を行います。

ひまわり組のお手本

基本的に病院は、けがや病気を治したり予防したりする場所です。治療や予防には痛みが伴うことも多く、中には白衣を見ただけで泣き出してしまいう子も少なくありません。そこで、初めて健康診断を受けるちゅうりっぷ組さんの前にひまわり組さんが「診断のお手本」を見せることにしています。

先日の眼科検診では、「怖くないよ」「大丈夫だよ」「すぐに終わるから」と先生が言いながら、会場(小学校2階多目的ホール)に子どもたちを連れてきてくれました。いつもの元気な様子はなく、みんな緊張で顔から笑顔が消えています。静かに座って待っていると、ひまわり組の先生が、「これから、ひまわり組さんが検診を受けるから見ていてね」と話をしました。

眼科検診

眼科の検診は、園医の先生がいつも見てくださっています。診察は目の下、涙袋のあたりに指をかけ下に下ろします。わずか、1～2秒で終わりますが、怖いと思ってしまうと余計なところに力が入ったり、泣き出してしまったりして上手いきません。そこで、ひまわり組さんの登場となるわけです。

ひまわり組の子どもたちは、毎年、経験しているので痛くないことやすぐに終わることが良くわかっています。ちょっと得意そうな顔をして「大丈夫だよ」「全然痛くないよ」と優しく教えてあげる姿に頼もしさを感じます。ひまわり組さんの様子を見て安心したのか、少し緊張がほぐれちゅうりっぷ組さんも無事に診察を終えることができました。泣かずに乗り越えることで、また一つできることが増えたちゅうりっぷ組さんでした。

健康状態の把握

健康診断終了後に結果をお知らせします。子どもの健康状態を把握していただき、再検査や治療(分かるように明記)が必要な場合は、園医か、かかりつけの医師の診察を受けるようお願いいたします。また、予防接種については母子手帳等の記録を見直すとともに、千代田区の保健所に問い合わせ確認しておくことをお勧めします。

健康に関する内容は、安心・安全な保育には欠かせないことなので情報を共有し、いざという時適切な対応ができるよう備えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。